

住民基本台帳人口移動報告

平成23年結果

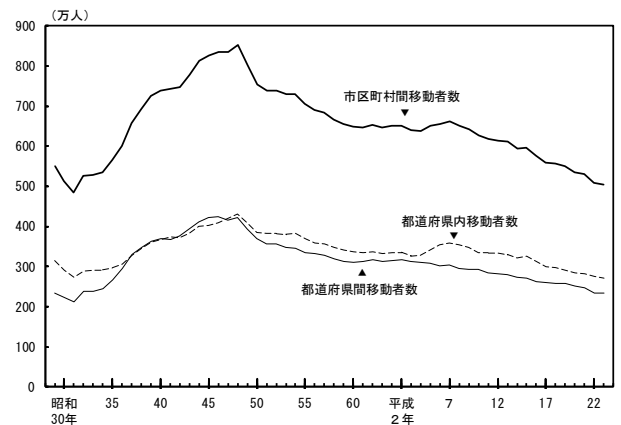
— 全国結果と岩手県、宮城県及び福島県の人口移動の状況 —
(要約)

1 全国の移動状況

都道府県間移動者数は平成7年以来16年ぶりに増加，0～4歳が最も増加

- 平成23年における日本人の市区町村間の移動者数は504万4239人となり，8年連続の減少
- 都道府県間移動者数は233万8519人となり，平成7年以来16年ぶりに増加
- 年齢5歳階級別では，前年に比べて0～4歳が8384人の増加と最も多く，次いで40～44歳が6800人の増加
- 都道府県内移動者数は270万5720人となり，8年連続の減少（「結果の概要」1ページ）

図1 移動者数の推移（昭和29年～平成23年）



大阪府は平成7年以来16年ぶりに転入超過，千葉県は昭和31年以来55年ぶりに転出超過

- 平成23年における都道府県別の転入・転出超過数をみると，転入超過となったのは11都府県。5府県が前年の転出超過から転じる。大阪府及び京都市は平成7年以来16年ぶり，岡山県は平成9年以来14年ぶりに転入超過
- 東京都，埼玉県及び神奈川県は転入超過数は，いずれも減少
- 福岡県の転入超過数は前年に比べて7046人の大幅な増加
- 茨城県及び千葉県は前年の転入超過から転出超過に転じる。千葉県は昭和31年以来55年ぶりに転出超過（「結果の概要」5ページ）

図2 都道府県別転入・転出超過数（平成22年，平成23年）

